

大豆

放射性セシウム吸収抑制対策

① 加里質肥料を基肥の時期に施用

那須塩原市

塩化加里 32 kg/10a
(作付前に増肥)

【農畜産物放射性物質影響緩和対策事業(放射性物質の吸収抑制対策) 対象市町村】
那須塩原市

その他の地域

土壌加里濃度の改善目標値を25 mg/100gとして、加里を増肥する

塩化加里の増肥量(kg/10a) = (25 - 土壌の交換性加里濃度(mg/100g)) ÷ 0.6

(黒ボク土の場合。灰色低地土の場合は、上記式×1.35。)

※加里質肥料を施用し土壌改良した上で、県の施肥基準に応じた施用を行いましょう。

なお、加里質肥料の施用量が多いとマグネシウムの吸収を阻害する場合があるので、播種前の酸度矯正の際に苦土炭カル等を施用し、マグネシウムを補給しましょう。

② 20cm以上に深耕

深く耕すことにより放射性セシウムが土壌に吸着され、さらに作土層が拡大するので根張りが改善され、大豆への吸収量が減ります。

③ 収穫時の汚損粒防止

コンバインの刈り高さを10cm以上にしましょう。